

《 小宮山 巖 様 講演 》

こんにちは。私の日本語、ちょっとうまくないけど日本語で話します。まず初めに、このような素晴らしい賞をいただいて、大変光栄です。日本政府、農林水産省に感謝申し上げます。

この仕事を私は7歳から始めました。私の祖母は、アルゼンチンで最初に、寿司屋を経営していました。その後、たくさんの国で腕を磨き、今日30年を超える職人生活で、日本の文化と料理を本当の姿で普及するために全てを捧げてきました。日本文化の素晴らしさをお見せすることができることは、私にとっていつも誇りであり、セミナークラスやマスタークラスを教えることはとても好きな仕事です。講義や料理の仕事で海外を訪れるときに、私はきちんと仕事をしたいと思っています。質の高い材料を使っていることが大切です。いい素材を使って、正しいやり方で調理をすると、いい料理に仕上げることができます。私は料理をすることを愛しています。料理のおかげで今の私があります。料理は私の命です。

私の夢は、スペイン語の国で放送される私の番組で、いつか日本を北から南まで取り上げて、その習慣、文化、祝賀行事などを紹介することです。私は、ラテンアメリカにはまだない日本料理学校を設立したいと夢を見ています。この賞をいただいて本当に光栄です。私は、この人生を通して、日々一つのことのためだけに働いているからです。それはきちんと働くことです。正しい道を歩んでいることが分かって、本当に誇りに思います。職人として腕を磨いていくためには、これから先、長い道のりがあるということには分かっています。まだまだ学ぶことがあります。しかし、謙虚な気持ちと努力で、人は仕事の夢を手にするができると思っています。

農林水産省の方々、政府関係者の方々、在アルゼンチン日本国大使館のナカツ様、私の日々の仕事を評価してくださってありがとうございました。スペイン語を使います。私の妻と子供への言葉です。(スペイン語でスピーチ。)

(仮訳：この賞をいただいたことを私の娘と妻に捧げ、感謝をしたいと思います。彼女達が私の人生にいつも寄り添ってくれて、私を愛してくれて助けてくれてありがとうございます。ありがとうございました。)

そして、日々活躍している全ての無名の職人達に捧げたいと思います。どうもありがとうございました。